



東北公益文科大学
Tohoku University of Community Service and Science

公益教養プログラム

FORUM 21

本講座は課外の教養講座として実施しているもので、学内外の講師による幅広いテーマのプログラムです。どなたでもご参加いただけます。

ケニアと共に生きる

～青年海外協力隊を通して感じた、日本とケニア～

○日 時：2013年1月12日（土）14：00～15：30

○場 所：東北公益文科大学 酒田キャンパス 公益ホール2階 中研修室2

○講 師：松原 峻 氏（本学3期卒業生、平成22年度第3次青年海外協力隊員）

宮城県仙台市出身。仙台市の構造設計事務所勤務後、東北公益文科大学入学（3期生）。

同大を卒業後、横浜市のITベンチャー企業、学校法人東北公益文科大学勤務を経て、青年海外協力隊のコンピュータ技術職として、東アフリカのケニア共和国の国立技術専門学校に派遣される（2011年1月～2013年1月）。

○内 容：

みなさんは、ケニアに対してどのようなイメージを持っていますか。

陸上競技が強い、マサイ族のような昔ながらの生活を営む原住民たち、危険、開発途上国……。しかしながら、首都ナイロビには高層ビルが立ち並び、毎日大渋滞が発生する、それもまたケニアの現在の姿なのです。

ケニアから学べることは何か、そしてこれからの日本がどうあるべきか、青年海外協力隊員としての活動報告を通じ、一緒に考えていきたいと思えます。

○参加費：無料

講演終了後、ケニアのコーヒーとTシャツを販売いたします。売上げは全額、ケニアの子どもたちの奨学金：Kenya Students' Educational Scholarship (KESTES) に充てさせていただきます。

○主催：東北公益文科大学 地域共創センター

○共催：東北公益文科大学同窓会「公翔会」



写真はケニア共和国で撮影（右が講師）

お問い合わせ（東北公益文科大学 地域共創センター）

〒998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1

Tel：0234-41-1115 Fax：0234-41-1135

ホームページ：http://kyoso.koeki-u.ac.jp/

E-mail：kyoso@koeki-u.ac.jp